

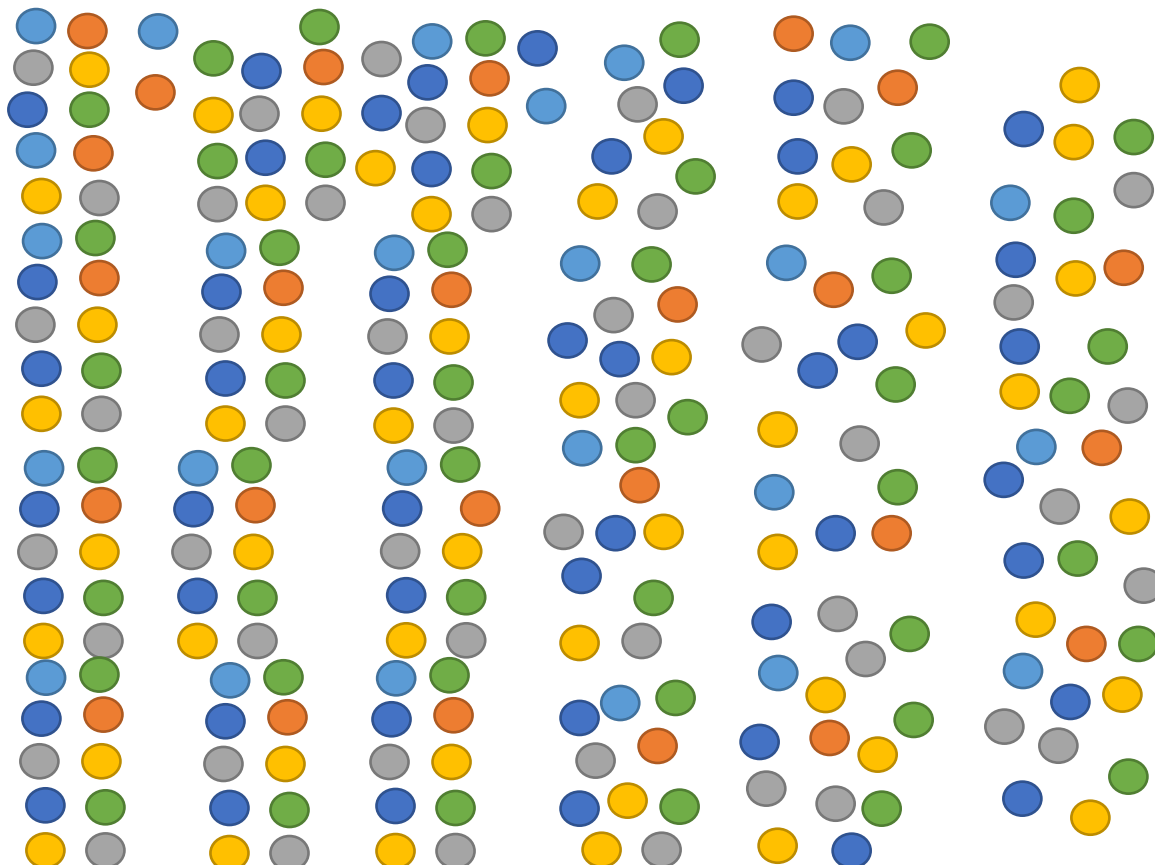
さんすう
【算数】

「※」は勉強するときの先生からのアドバイスです。

<べんきょうすること>

◆ 100 より大きい数（きょうかしよ 66～69 ページ）

ボールは 何こ あるかな。



何こ ぐらいあるかな。 こぐらい。

あれ？
1こ ずつ 数えて いくと まちがえ そうだよ？

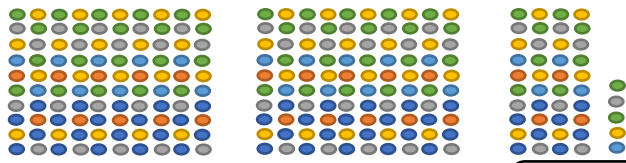


どうすると 数えやすく なるかな？

10こずつ まとめて 線で かこみましょう。

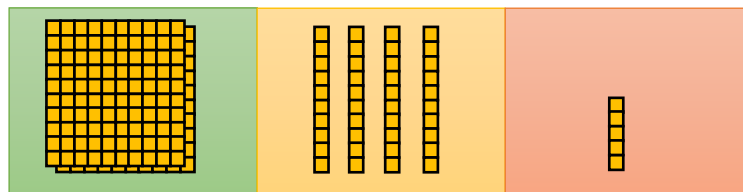
10のまとまりは こできる。

100の まとまりは何こ できるでしょうか。
また、そのほかに あと何こ あるでしょうか。



100が こ 10が こ 1が こ

※100を 2こ あつめた数を、^{にひゃく}二百 といいます。
二百と 四十五を あわせた数を、^{にひゃくよんじゅうご}二百四十五 といいます。



100が こ 10が こ 1が こ

百の位	十の位	一の位
2	4	5

※二百四十五は
2 4 5 と書き
ます。
2 4 5の2は
^{くらい}百の位 の数字
で、200をあ
らわします。

2 4 5

<れんしゅうもんだい> 100を3こと、10を6こと、1を5こ
あわせた 数を 数字で 書きましょう。

<この ^{べんきょう}勉強で、わかったことや、きづいたこと、
おもしろかったところを、おうちのひとに お話ししてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします

◆100より大きい数（教科書 P66～P69）

- ・単位のしくみのよさについて経験的に学ぶためにも、具体物を数える活動が大切です。10 や 20 程度の具体物を数えることはあっても、100 や 200 を数える経験は少ないです。日常的な場面で具体物を数える機会を多くしていき、まとまりで数えることのよさを実感できるようにしましょう。